



祝辞
東京島根県人会
副会長
加藤哲夫さん

本日、県人会会長の坂根 と思つています。また、映画監督の錦織さんも出雲出ています。貴方と云う方も、難波会長を中心とすまきました。私は出雲市の出「たたら侍」や「うん、何？」身で雲南は隣の町なんだ心にと影射されたという事から、おまえ行つて来いよは、雲南地域に心惹かれるという事になりました。

雲南は出雲のすぐ隣で、私が若い頃は近くて遠い街という感じを抱いていました。しかし、永井博士や竹下さん、私が所属した会社の2代目社長の出共サービスが受け難くな身地でもあり、後年は非常に親しみを覚えるようにになりました。私は建築関連の仕事をしていましたが、専門誌を読んでいた雲南市の新庁舎がカーボンニュートラル大賞(注)に選定された事が載つていました。非常にエコ(省エネ)な建物であるように感じました。



祝辞
島根県東京事務所
管理行政部長
古満 繁さん

本日は雲南市東京ふるさと会第6回交流会が盛大に開催され、心からお喜び申し上げます。難波会長をはじめ役員の方々の尽力のおかげで、物と敬意を表させていただきます。

先程より話がありましたが、大雨の件ですが、島根県でも西部地域では約300戸の床上・床下浸水被害が出ています。これについては今週中国地方5県の知事会から首相官邸や関係省庁に対し、いち早い復興支援と財政的なお願いをした所です。また、県庁の職員1000人程が現地に入り、地元の方々と一緒に家屋の泥出し作業をおこなうなど復興に努力しています。



ふるさと近況報告
雲南市政策企画
部長
佐藤 満さん

胃袋にはたっぷりとお酒を注ぎ込んで耳だけお貸しください。雲南市におけるこの1年間の主な出来事3件を挙げるならば、まず雲南市立病院が新しくなった事です。地域の人口と共にありたいという事で、共存病院としてやって来て、ちょうど節目の70年で建て替えが終わったものです。医師不足等もあって赤字経営が続いていましたが、現在は地域医療に燃えるお医者さんが集まって来て、その数は増えていっています。医師・看護師の勉強会や、地域のサポーターを交えた勉強会等が盛んにおこなわれ、地域医療を守るという目的に向け頑張ってもらっています。

二つ目は、7月に加茂のB&G海洋センター温水プールがリニューアルし、年間を通して利用可能になった事です。これはただの温水プールではありません。雲南市では「身体教育医学研究所なんなん」という組織を作っていますが、老人が転倒をきっかけに寝たきりになる事が多いよう、この施設を活用して諸々の活動を行っています。先ほどの市立病院へは「みなさんは是非」とは言いませんが、こちらの方は帰省の際等には是非活用ください。

三つめは、今年もコウノトリ4羽が巣立った事です。去年も4羽が巣立ちましたが、2年連続で巣立った町というのは全国で初めてです。それだけ雲南市の環境が恵まれている故の事だと思います。地元の人からトラクタで田んぼをおこす作業をおこなうと、その後方でコウノトリが餌をついばむ姿が見られるようになってい

【その他項目は別表】



おたのしみ抽選会
特別賞品 ▼市長賞・奥出雲和牛セット「速水雄雄」×1名
▼副議長賞・純米原酒「殿居敷」セット「山崎正幸」×1名
▼島根県賞・雲南市物産セット「ほんば」×1名
▼島根館賞・「島根館」×1名
▼NDRトラベル賞・「NDR」×1名
▼おぐに賞・日本酒(4合)「出雲神在料理おぐに」×5名
▼かば賞・割引券(5千、3千円)「山陰海鮮亭」×1名
▼GAINA賞・「GAINA」×2名
▼「我道を行く」他5点×1名
▼2等賞・日本茶「数北茶」他4点×2名
▼3等賞・実山椒「はじかみ」他2点×3名
▼4等賞・たまごスー「ジャコ」他1点×5名
▼参加賞・「蜂蜜そら豆」他1点×全員

うんなんん便利
(雲南市からのお知らせ)
日本の25年先の未来を歩く雲南市。そんなまちの未来をつくろうと様々な課題に前向きに挑戦する人が生まれ、少しずつ成果を生み出しています。雲南市は、その挑戦をまち全体に広げ、10年後も20年後も市民みんながいいきと暮らせる魅力あるまちづくりに挑戦しています。雲南市の「食の幸」を活かした返礼品も贈呈していますので、ふるさと納税で雲南市の挑戦を応援いただきますようお願いいたします。



(雲南市政策企画推進課)

